

Attachment(s): 1 Certified Copy(ies)

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 0 月 2 1 日
Date of Application:

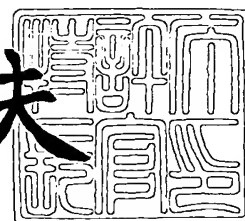
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 0 5 8 3 5
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 3 0 5 8 3 5]

出 願 人 日 本 電 気 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 3 年 9 月 1 2 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 7 5 3 0 7

【書類名】 特許願

【整理番号】 53210736

【提出日】 平成14年10月21日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00
G06F 17/60 132

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

 【氏名】 森田 茂義

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100084250

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 丸山 隆夫

 【電話番号】 03-3590-8902

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 007250

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9303564

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個人情報提供システム、個人情報提供方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者の携帯する情報通信端末と、

利用者の個人情報を登録した情報サーバ装置と、がネットワークを介して接続された個人情報提供システムであって、

前記情報通信端末は、前記情報サーバ装置から前記個人情報を取得するためのアドレス情報を記憶した記憶手段と、

個人情報の交換を行なう相手側情報通信端末に、前記記憶手段に記憶したアドレス情報を近距離無線通信により通信する近距離無線通信手段と、を有し、

前記近距離無線通信手段により個人情報を取得するためのアドレス情報を取得／または通知し、取得した前記アドレス情報を用いて前記情報サーバ装置から個人情報を取得し参照することを特徴とする個人情報提供システム。

【請求項 2】 前記情報サーバ装置は、

利用者ごとに、表示項目がそれぞれ異なる複数種類の個人情報を登録しており、

前記情報通信端末及び前記情報サーバ装置は、個人情報毎に設定されたアドレス情報を記憶しており、

相手に応じて通知する個人情報を選択し、選択した個人情報のアドレス情報を前記近距離無線通信手段により通知することを特徴とする請求項 1 記載の個人情報提供システム。

【請求項 3】 相手側に通知する個人情報には、文字、音声、画像の少なくとも 1 つが含まれることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の個人情報提供システム。

【請求項 4】 利用者の個人情報を情報サーバ装置に登録する個人情報登録工程と、

前記個人情報登録工程により登録した個人情報を取得するためのアドレス情報を決定し、情報サーバ装置に登録すると共に該当利用者の携帯する情報通信端末に通知するアドレス通知工程と、

個人情報を知りたい相手側の情報通信端末に、近距離無線通信手段を用いて前記アドレス情報を通知する近距離無線通信工程と、

前記アドレス情報の通知を受けた相手側の情報通信端末で、前記情報サーバ装置にアクセスし、該当する個人情報を取得し参照する個人情報取得工程と、を有することを特徴とする個人情報提供方法。

【請求項 5】 前記個人情報登録工程によって登録される個人情報は、表示項目がそれぞれ異なる複数種類の個人情報を利用者ごとに登録したものであり、

前記アドレス通知工程は、複数種類の個人情報毎にアドレス情報を決定し、これらを前記利用者の携帯する情報通信端末に通知する工程であり、

前記近距離無線通信工程は、相手に応じて通知する個人情報を選択し、選択した個人情報のアドレス情報を前記近距離無線通信手段により通知する工程であることを特徴とする請求項 4 記載の個人情報提供方法。

【請求項 6】 相手側に通知する個人情報には、文字、音声、画像の少なくとも 1 つが含まれることを特徴とする請求項 4 または 5 記載の個人情報提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、携帯端末を利用した個人情報提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

通常、初対面の人に対する自己情報の提示手段として、氏名、住所、職業、身分などを記した「名刺」を渡す、などの方法がある。

【0003】

また、このような名刺交換によって得た個人情報を管理する方法として、以下の特許文献 1、2 に開示されるように個人情報の管理をネットワーク上で行なう方法が提案されている。

【0004】

【特許文献 1】

特開 2001-325151 号公報

【特許文献 2】

特開 2002-32372 号公報

【0005】

特許文献 1 としての特開 2001-325151 号公報に開示された技術は、登録者が所有する登録ユーザ端末と参照者が所有する参照ユーザ端末と上位処理装置とが相互にデータ通信するデータ処理システムにおいて、登録者により登録ユーザ端末から上位処理装置に個人情報がデータ登録され、この個人情報がデータ登録された上位処理装置が識別情報と参照パスワード情報と更新パスワード情報とをデータ生成して登録ユーザ端末にデータ返信し、登録者の所望により登録ユーザ端末から上位処理装置に識別情報と更新パスワードとがデータ送信され、この識別情報と更新パスワードとをデータ受信した上位処理装置は対応する個人情報をデータ読出して登録ユーザ端末にデータ返信し、この登録ユーザ端末では登録者の所望によりデータ受信した個人情報の変更データがデータ入力され、このデータ入力された変更データは登録者の所望により登録ユーザ端末から上位処理装置にデータ送信され、この上位処理装置はデータ受信した変更データによりデータ登録されている個人情報をデータ更新し、登録者の所望により登録ユーザ端末から参照ユーザ端末に識別情報と参照パスワードとがデータ送信され、参照者の所望により参照ユーザ端末から上位処理装置に識別情報と参照パスワードとがデータ送信され、この識別情報と参照パスワードとをデータ受信した上位処理装置は対応する個人情報をデータ読出して参照ユーザ端末にデータ返信することを特徴としている。

【0006】

特許文献 2 としての特開 2002-32372 号公報に開示された技術は、不特定者がアクセス可能なシステムにおいて実行される方法であって、不特定者からの個人情報の登録を受け付ける過程と、個人情報を登録した登録者毎に定めた領域に、その者の個人情報の閲覧を許容する相手を識別するための所定の識別情報を記録する過程と、相手から識別情報を伴う個人情報の閲覧要求があった場合に、当該相手による当該個人情報の閲覧を可能にする過程とを含み、識別情報の

記録を個々の登録者の行為に起因して行うことを特徴としている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、「名刺」に記載されている情報は画一的であるため、よりプライベートな情報、例えば、自分の好みや趣味などの情報を知らせたい場合には不向きである。また、人によっては「名刺」に記載されている情報だけでも十分過ぎることもある。

【0008】

また、相手によって提示する情報を変えようとした場合、複数種類の名刺を持ち歩かなければならない。複数種類の名刺を持つ場合、1、2種類の名刺がきれていても気づかないこともある。

【0009】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、携帯端末を利用して個人情報の交換を実現した個人情報提供システム、個人情報提供方法を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するために請求項1記載の発明は、利用者の携帯する情報通信端末と、利用者の個人情報を登録した情報サーバ装置と、がネットワークを介して接続された個人情報提供システムであって、情報通信端末は、情報サーバ装置から個人情報を取得するためのアドレス情報を記憶した記憶手段と、個人情報の交換を行なう相手側情報通信端末に、記憶手段に記憶したアドレス情報を近距離無線通信により通信する近距離無線通信手段と、を有し、近距離無線通信手段により個人情報を取得するためのアドレス情報を取得／または通知し、取得したアドレス情報を用いて情報サーバ装置から個人情報を取得し参照することを特徴とする。

【0011】

請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、情報サーバ装置は、利用者ごとに、表示項目がそれぞれ異なる複数種類の個人情報を登録しており、情

報通信端末及び情報サーバ装置は、個人情報毎に設定されたアドレス情報を記憶しており、相手に応じて通知する個人情報を選択し、選択した個人情報のアドレス情報を近距離無線通信手段により通知することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 記載の発明において、相手側に通知する個人情報には、文字、音声、画像の少なくとも 1 つが含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

請求項 4 記載の発明は、利用者の個人情報を情報サーバ装置に登録する個人情報登録工程と、個人情報登録工程により登録した個人情報を取得するためのアドレス情報を決定し、情報サーバ装置に登録すると共に該当利用者の携帯する情報通信端末に通知するアドレス通知工程と、個人情報を通知したい相手側の情報通信端末に、近距離無線通信手段を用いてアドレス情報を通知する近距離無線通信工程と、アドレス情報の通知を受けた相手側の情報通信端末で、情報サーバ装置にアクセスし、該当する個人情報を取得し参照する個人情報取得工程と、を有することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

請求項 5 記載の発明は、請求項 4 記載の発明において、個人情報登録工程によって登録される個人情報は、表示項目がそれぞれ異なる複数種類の個人情報を利用者ごとに登録したものであり、アドレス通知工程は、複数種類の個人情報毎にアドレス情報を決定し、これらを利用者の携帯する情報通信端末に通知する工程であり、近距離無線通信工程は、相手に応じて通知する個人情報を選択し、選択した個人情報のアドレス情報を近距離無線通信手段により通知する工程であることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

請求項 6 記載の発明は、請求項 4 または 5 記載の発明において、相手側に通知する個人情報には、文字、音声、画像の少なくとも 1 つが含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

【発明の実施の形態】

次に、添付図面を参照しながら本発明の個人情報提供システム、個人情報提供方法に係る実施の形態を詳細に説明する。図 1 ～図 6 を参照すると本発明の個人情報提供システム、個人情報提供方法に係る実施の形態が示されている。

【0 0 1 7】

図 1 に示されるように本発明に係る実施形態は、複数の情報通信端末 1 0 0 と、情報サーバ装置 2 0 0 と、これらを相互に接続するインターネット等の通信ネットワーク 3 0 0 とを備えている。なお、図 1 には情報通信端末 1 0 0 A, 1 0 0 B の 2 機が図示されているが、情報通信端末 1 0 0 の数はこれに限定されるものではない。また、情報通信端末 1 0 0 は、後述する機能を備えていれば同一機器である必要はない。

【0 0 1 8】

情報通信端末 1 0 0 は、通信ネットワーク 3 0 0 に接続可能なブラウザフォン等が適用される。図 2 に情報通信端末 1 0 0 の構成を示す。

図 2 に示されるように情報通信端末 1 0 0 は、アンテナ 1 0 1 と、送受信回路等を含み、通信ネットワーク 3 0 0 に接続されて通話やデータの送受信を行う無線部（送受信データ処理部 1 0 2）と、画像データや文字データを処理して表示器に表示させる表示処理部（表示器） 1 0 3 と、音声・楽音データを処理する音声処理部（スピーカ） 1 0 4 と、情報通信端末に対する各種命令、情報の入力操作を行う操作部 1 0 5 と、各種データを記憶する記憶部 1 0 6 と、外部機器との通信として、例えば I r（赤外線： I n f r a r e d R a y s）や B l u e t o o t h（ブルートゥース）などによるデータ送受信、通信制御を行う外部機器通信部 1 0 7 と、情報通信端末 1 0 0 の各部を制御する制御部 1 0 8 とを備えている。

【0 0 1 9】

情報サーバ装置 2 0 0 は、ワークステーションサーバ等の情報処理装置により構成され、サービス提供者により管理される。また、情報サーバ装置 2 0 0 は、図 3 に示すように通信ネットワーク 3 0 0 との間でデータ送受信を行う際の通信インターフェース部である通信部 2 0 1 と、情報通信端末 1 0 0 からのアクセス

に対して提示する個人情報（個人情報データベース）、及び該個人情報を提示する前の認証情報（認証情報データベース）などを記憶するデータベース部 2 0 2 と、情報サーバ装置 2 0 0 の各部を制御する制御部 2 0 3 とを備えている。

【0 0 2 0】

本サービスを利用する利用者は、情報サーバ装置 2 0 0 にアクセスして、個人情報の登録を行う。個人情報の登録は携帯端末等の情報通信端末 1 0 0 から行なってもよいし、パーソナルコンピュータから行なってもよい。情報サーバ装置 2 0 0 は、利用者からのアクセスを受けると、図 4 に示されるような簡易個人情報入力画面、また、図 4（b）に示されるような詳細個人情報入力画面を表示する。利用者は、端末に表示された画面を見ながら個人情報を入力する。なお、登録可能な個人情報は、図 4（a）、（b）のように入力項目が予め決められたものだけではなく、利用者自身で入力項目を選択してフォームを決めることもできる。図 4 の（c）には飲食店（ラーメン店）で提示する個人情報の例が、図 4 の（d）には美容院で提示する個人情報の例が示されている。

【0 0 2 1】

利用者によって入力された個人情報は、情報サーバ装置 2 0 0 に送信されデータベース部 2 0 2 に登録される。情報の登録が正常に終了すると、情報サーバ装置 2 0 0 は、個人情報を取得するための URL を利用者の情報通信端末 1 0 0 に通知する。情報通信端末 1 0 0 は情報サーバ装置 2 0 0 から取得した URL を記憶部 1 0 6 に記憶する。なお、URL は登録した個人情報毎に付けられているものであり、利用者は、相手に応じて提示する個人情報の URL を選択して通知する。また、情報通信端末 1 0 0 は、記憶した URL を表示器に表示する際に、単に URL だけを表示するのではなく、図 5 に示されるように簡易個人情報 URL、詳細個人情報 URL、飲食店情報 URL といったように UR と個人情報との関係が分かるように表示するとよい。

【0 0 2 2】

次に、図 6 に示されたフローチャートを参照しながら、図 1 に示された情報通信端末 1 0 0 A の利用者が、自己の個人情報を情報通信端末 1 0 0 B の利用者に提示する手順を説明する。

情報サーバ装置 200 への個人情報の登録が終了した利用者は、個人情報の交換を行ないたい相手に出会うと、図 5 に示される画面を表示させ、相手に通知したい個人情報を選択する。情報通信端末 100 は利用者により選択された個人情報の URL を Bluetooth、Ir 等の通信手段を用いて相手機器に送信する（ステップ S101）。なお URL アドレスに加えて、情報サーバ装置 200 に接続する際の認証パスワード情報（PW）も併せて送出される。

【0023】

情報通信端末 100A から URL アドレスを受けた情報通信端末 100B は、情報サーバ装置 200 の該当アドレス（URL）にアクセスして情報サーバ装置 200 に接続する（ステップ S103）。次に、情報サーバ装置 200 との認証を行い（ステップ S104、ステップ S105、ステップ S106）、認証に成功すると情報サーバ装置 200 が記憶する情報通信端末 100A の利用者の個人情報を受信し（ステップ S107、ステップ S108）、該情報を出力する。

【0024】

図 4 に、表示器に表示される個人情報の例を示す。図 4 の（a）には簡易個人情報、図 4 の（b）には詳細個人情報、図 4 の（c）には飲食店で提示する個人情報、図 4 の（d）には美容院で提示する個人情報が示されている。なお、個人情報は、文字によるものだけでなく、音声情報、画像情報などであってもよい。

【0025】

このように本実施形態は、Bluetooth、Ir 等の近距離無線通信手段を用いて個人情報の交換を行なうことにより、情報通信端末による名刺交換を実現することができる。

【0026】

また、ネットワーク社会において、ストレスを要することなく自身の個人情報を伝達できるという優れた効果を奏するものである。

【0027】

さらに、相手に応じて、提供する情報を選択することが容易に行なうことができるという優れた効果を奏するものである。

【 0 0 2 8 】

なお、上述した実施形態は本発明の好適な実施の形態である。但し、これに限定されるものではなく本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変形実施可能である。

【 0 0 2 9 】**【発明の効果】**

以上の説明より明らかなように本発明は、近距離無線通信手段を用いて個人情報の交換を行なうことにより、情報通信端末による名刺交換を実現することができる。

【 0 0 3 0 】

また、ネットワーク社会において、ストレスを要することなく自身の個人情報を伝達できるという優れた効果を奏するものである。

【 0 0 3 1 】

さらに、相手に応じて、提供する情報を選択することが容易に行なうことができるという優れた効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】**【図 1】**

本発明に係る実施形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】

情報通信端末 1 0 0 の構成を示すブロック図である。

【図 3】

情報サーバ装置 2 0 0 の構成を示すブロック図である。

【図 4】

個人情報の一例を示す図である。

【図 5】

表示器に表示される画面表示の一例を示す図である。

【図 6】

動作手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1 0 0 情報通信端末

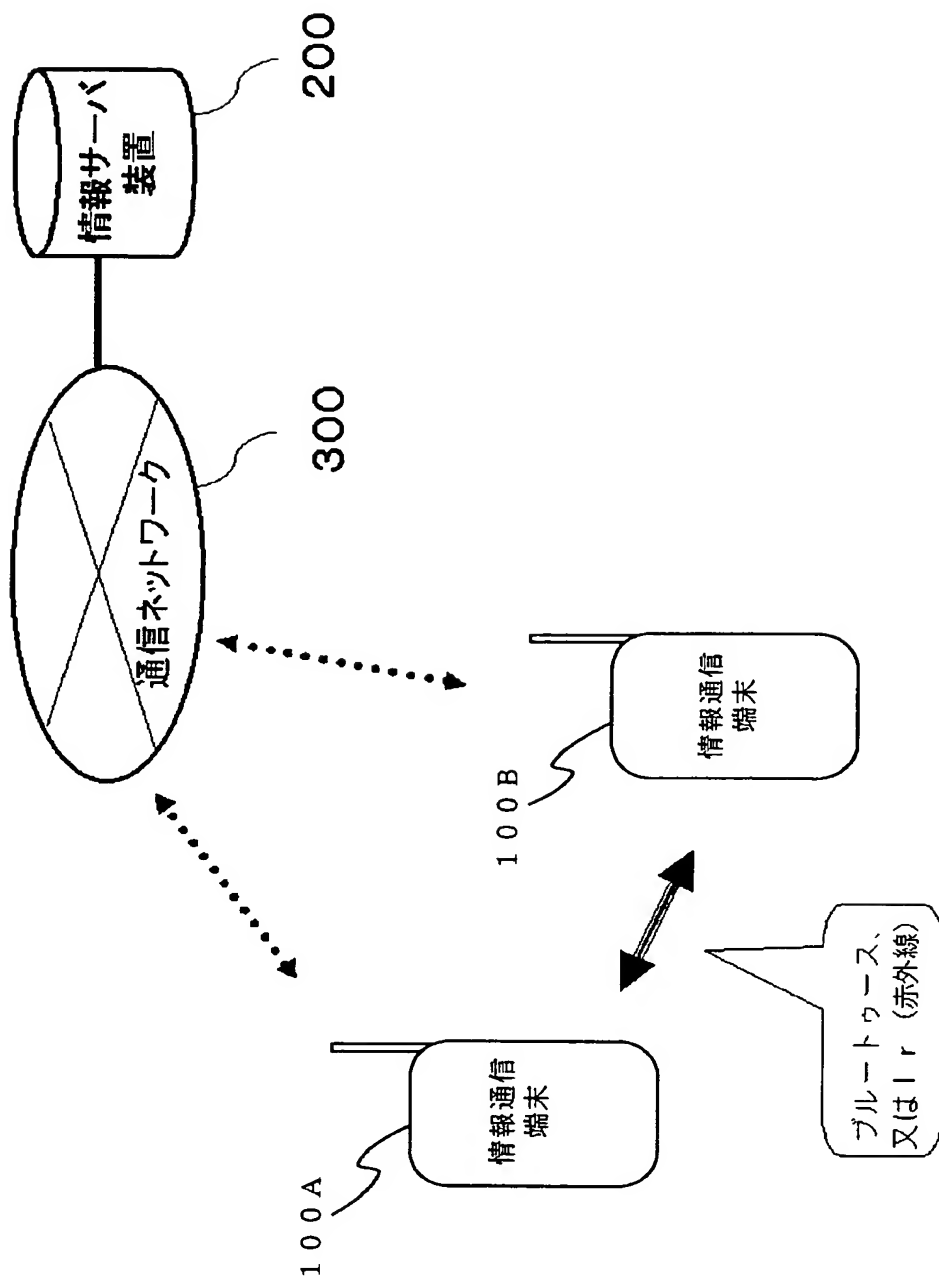
2 0 0 情報サーバ装置

3 0 0 通信ネットワーク

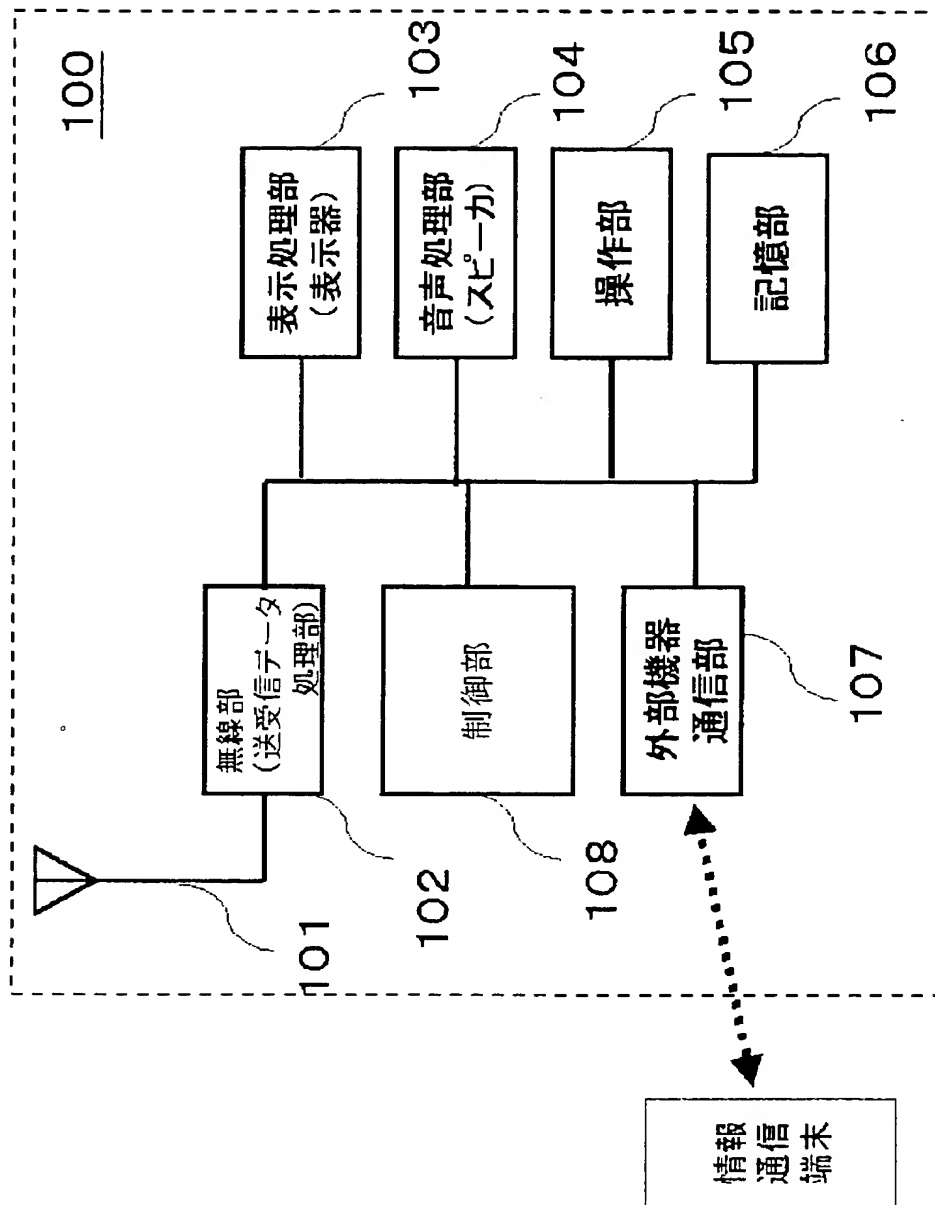
【書類名】

図面

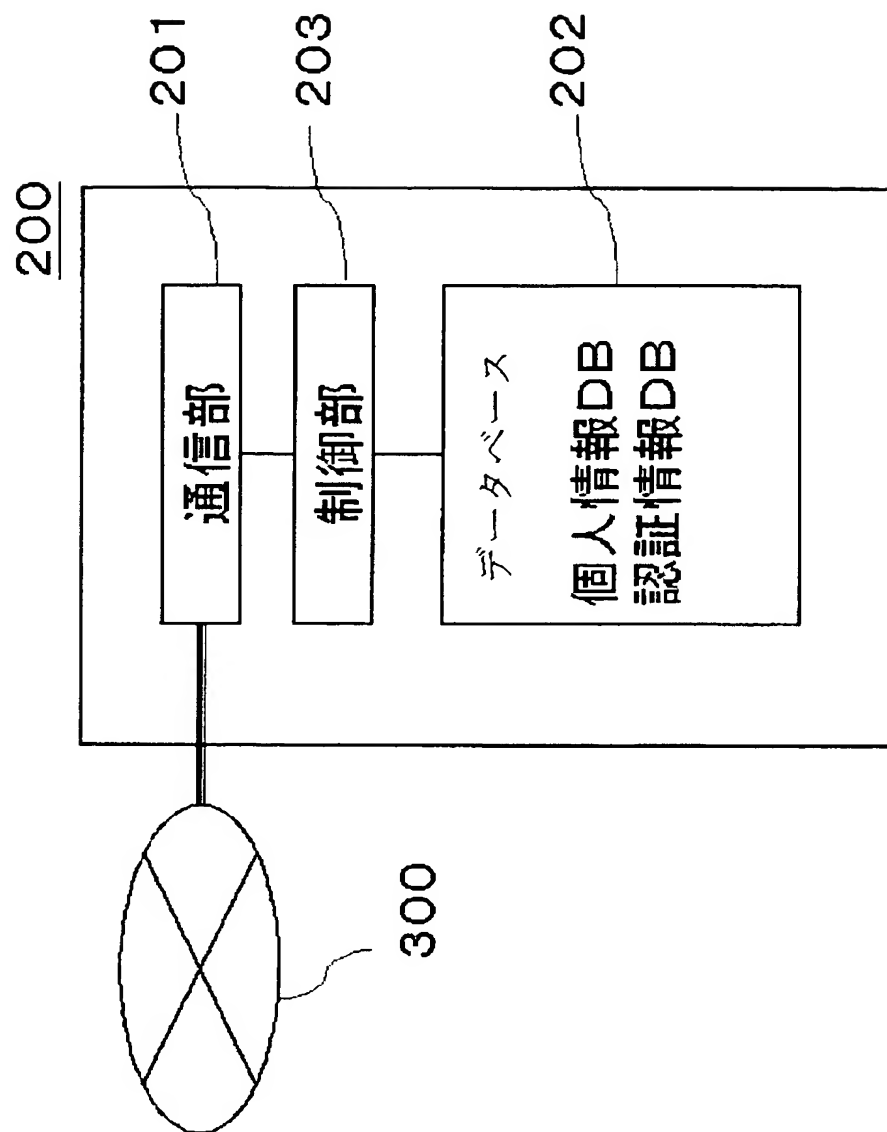
【図 1】



【図2】



【図 3】



【図 4】

(a)

氏名(ID):
住所 :
職業 :
身分 :

(b)

氏名(ID):
住所 :
職業 :
身分 :
趣味 :
資格 :
血液型 :
病歴 :

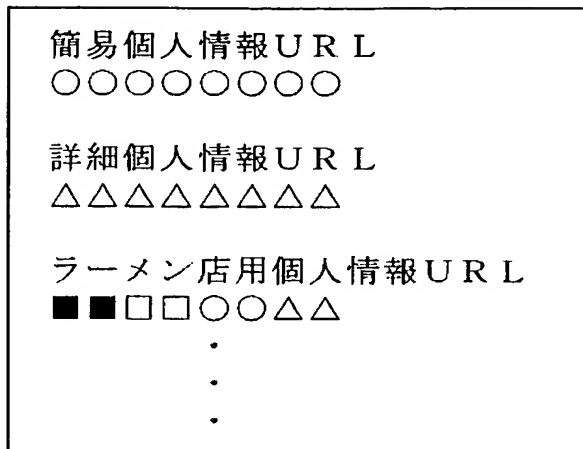
(c)

氏名(ID): × × × ×
麺 : 細麺
スープ : 濃い
量 : 大盛

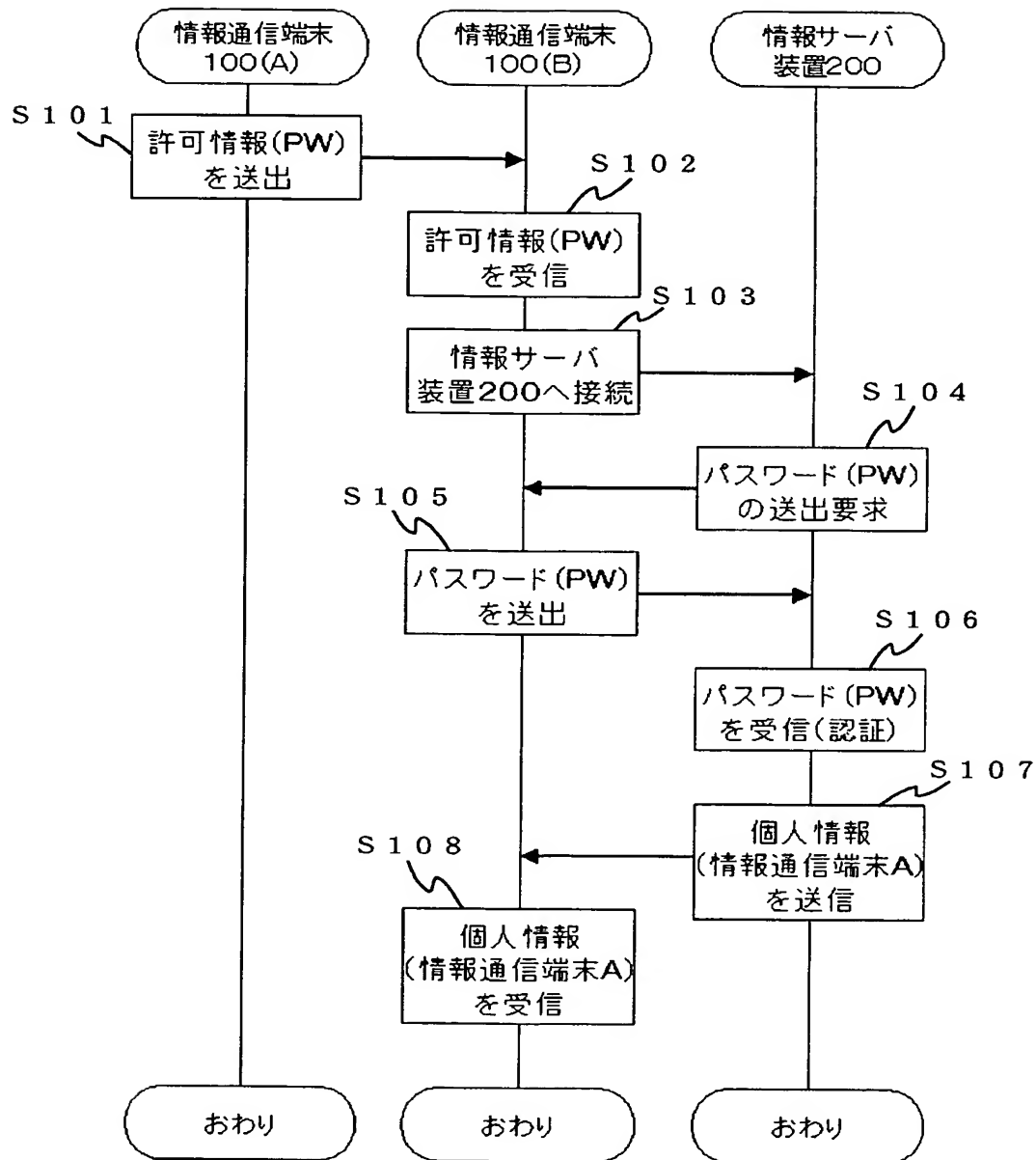
(d)

氏名(ID): × × × ×
髪型 : ▲▲▲
趣味 : ●●●

【図 5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 携帯端末を利用して個人情報の交換を実現した個人情報提供システムを提供する。

【解決手段】 利用者の個人情報を情報サーバ装置 2 0 0 に登録し、登録した個人情報を取得するための U R L を決定して、情報サーバ装置に登録すると共に該当利用者の携帯する情報通信端末 1 0 0 に通知する。U R L を取得した利用者は、個人情報を交換したい相手の情報通信端末 1 0 0 に、ブルートゥース又は I r を用いて U R L を通知する。U R L の通知を受けた相手は、情報サーバ装置 2 0 0 にアクセスし、該当する個人情報を取得し参照する。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 0 5 8 3 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 4 2 3 7]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

氏 名

日本電気株式会社